

時事英語演習

英語ニュースリスニング

【茅ヶ崎方式時事英語 ユニット20：日本の中国人観光旅行者受け入れについて】

3年2組

授業者 寺田 圭子

■ 単元の目標

- 本時の英語ニュースに出てくる単語のディクテーションをし意味を理解する。
- ニュースの速聴・精聴を行い要旨を理解する。
- ニュースに関する資料をネットで提示し日本政府の中国人観光客誘致と現状について理解を深める。

■ つけたい力

- ニュースに出てくる英単語の習得。
- 英語ニュースの大意をつかむ。
- 日本政府の中国人観光客誘致についての取り組みと現状を理解する。

■ I C T 活用の視点

- ニュースを速聴して要旨を理解した後、精聴のためのヒントとして英文スクリプトをインタラクティブユニット（内田洋行）を用い各パラグラフ毎に黒板に投影する。この機器の補助により英文構成と内容理解について素早く行うことが可能になる。（板書時間の短縮）
- 日本政府の中国人観光客誘致についての現状をインターネットで迅速に確認できる。
- 授業終了と同時に茨城県教育情報ネットワーク（IEIネット）に登録してある各生徒のアカウントに本時のニュースを配信し、生徒が他のデジタル機器に音声を移して復習に役立たせることができる。

■ 本時の授業の概要

学校設定科目である「時事英語演習」は私立大学文系クラスで実施されている。この授業は時事についての理解とリーディング・ライティングでは扱いきれない「英語ニュースの速聴と精聴」をじっくり行うことでリスニング力を高めることを目的としている。電子黒板の使用により英文を板書する時間を短縮し、英文そのものの理解により多くの時間を使ってることが可能になる。またニュースの関連事項をインターネットで確認したり、授業で扱ったニュース音声を全員にネット配信し家庭学習の一助とする。

学習活動	指導上の留意点
1.ワークシート準備	単語のディクテーションを行い生徒に答えを板書きさせ補足事項を説明する。
2.本時の英語ニュースをナチュラルスピードで速聴	数人の生徒を指名し大意を発表させる。（正誤についてはあえてふれない）
3.速聴した内容が合っているかプロンプトのあるワークシート配付して精聴。同じ内容を黒板に投影し主文の構造と詳細な内容把握	生徒を指名し主文の構造を理解しているか・ニュースの詳細を理解しているか確認する
4.ニュースの内容理解が終了したら関連事項をネットで確認	日本政府の外国人向け観光キャンペーンの取り組みでニュースの理解にふくらみを持たせる (評価) 英語ニュースの内容を理解できたか (評価) 電子黒板の補助により英文構造が把握できたか
5.本時のまとめとしてニュースをシャドウイングおよびニュース配信	(評価) シャドウイングが行えるか